

代表者名	千葉 俊	所管部課名	産業労働部観光課
所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢93番地先	設立年月日	平成15年4月16日

【沿革及び県の出資理由】

魚などとの触れ合いを通じた学習の機会を提供し、県民の自然保護及び地球環境保全についての理解を深めるとともに、秋田県の観光振興を図ることを目的に県等の出資により設立された。

【出資者】(22年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	51,000	51.0
男鹿市	1	31,000	31.0
民間	5	18,000	18.0
計	7	100,000	100.0

【事業】

主たる業務

秋田県立男鹿水族館の管理運営

事業実績

(千人)

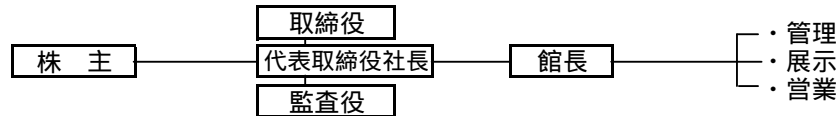
事業名等	19年度	20年度	21年度
入館者数 (有料)	251	224	228

21年度事業概要及び22年度事業計画・目標

21年度はリ・マソック、新型インフルエンザと営業面で非常に難しい年であった。しかし展示面では「海を知らないワカウの誕生」「電気カギ」の展示、「豪太本館移動」と話題性のある展示を行うことができた。  
22年度は、新型インフルエンザの影響で落込んだ福祉、団体客の取込みに力をいれていく。また、展示関係では「ふれあい」「おどろき」をテーマに季節感あるイベントを心がけ時期によりスポット解説を行うなど工夫して魅力アップを図っていく。

【組織】

運営機構



役員数 (H22.7.1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	3	1
内、県退職者	1	
内、県職員	1	
計	4	1
内、県関係者	1	

職員数 (H22.4.1現在)

(人)

	人数	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
正職員	19	29.4歳	3.9年
内、県退職者	1		
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	2		
内、県退職者			
計	21	正職員平均年収	2,858千円
内、県関係者	1		

役員報酬支給対象者数	2人
役員報酬支給対象者平均年齢	60.5歳
平均役員報酬額	4,680千円/年

【財務】

損益状況 (21年度)

(千円・税抜)

	金額
経常収入 A	445,339
受託事業収入	92,354
水族館収入	185,036
自主事業収入	163,963
運用益収入	
その他	3,986
経常支出 B	429,332
人件費	113,323
その他	316,009
経常損益 C = A - B	16,007
経常外収入	
経常外支出・諸税	6,230
当期損益	9,777

財務状況 (21年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	216,093	90.8
固定資産等	21,853	9.2
資産計	237,946	100.0
流動負債	42,801	18.0
短期借入金		
固定負債	2,217	0.9
長期借入金		
負債計	45,018	18.9
資本金	100,000	42.0
剰余金	92,928	39.1
純資産計	192,928	81.1
負債・純資産計	237,946	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中退共加入		%

【県の財政支出】

(千円・税抜)

	19年度	20年度	21年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	79,849	93,994	92,354	水族館を管理するに当たり人件費、宣伝広告費、展示生物費等を支出
貸付残高				

## 1 主な経営指標

項目		単位	19年度	20年度	21年度	19-20増減	20-21増減
健全性	自己資本比率	%	84.73	86.51	81.08	1.78	5.43
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	576.67	731.79	504.88	155.12	226.91
収益性	剰余金（欠損金）	千円	83,069	83,151	92,928	82	9,777
	経常利益率	%	2.21	0.08	3.59	2.13	3.51
	総資本利益率	%	4.54	0.16	6.73	4.38	6.57
発展性	経常収入額	千円	444,023	422,720	445,339	21,303	22,619
効率性	総資本回転率		2.06	2.00	1.87	0.06	0.13
	職員1人当たり経常収入	千円	12,334	14,091	13,917	1,757	174
	人件費比率	%	27.88	27.60	25.45	0.28	2.15

## 2 経営目標の達成状況

経営目標			19年度	20年度	21年度	22年度
経営改善指標	当期利益（千円）	目標	7,051	2,566	2,599	2,210
		実績	6,018	82	9,777	
売上高指標	売上高人件費率（%）	目標	29.0	27.0	28.0	29.0
		実績	28.0	28.0	26.0	
事業成果指標	入館者数（千人）	目標	258	253	243	223
		実績	251	224	228	
売上高指標	売上高（千円）	目標	379,717	365,119	356,499	340,129
		実績	361,568	323,304	348,999	
顧客満足度	顧客満足度指数	目標	84	85	88	88
		実績	81	86	87	

## 3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

21年度はリーマンショックの発生、新型インフルエンザの流行と営業面で厳しい状況だった。団体客が例年に比べて2,600名程落ち、一般の利用者は大型連休に集中して他の日は鈍いなど、人の流れが著しく停滞している印象が強かった。

イベントや、展示関係は、「海を知らないハタハタの誕生」「電気ウナギ」「豪太の本館移動」「夜の水族館」と話題提供を強化することで、テレビ、新聞などに取り上げられる機会が増加した。

売店、レストラン部門では、商品開発の強化、営業体制の効率化、店舗レイアウトの変更、繁忙期の店舗外での営業など、利用率、利用単価対策を積極的に行い成果を上げることができた。

今後は、高速道路の割引きを加味した新たな販路開拓、冬季の宿泊施設との連携、集客に繋がる話題提供の強化が課題と考えている。

また、21年度から指定管理料が定額になったことで、先を見越した経営判断が可能になったことも、施設の安定的な運営に寄与している。

**<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>**

- ・「ふれあい」をテーマにした展示の強化。
- ・アクセス方法についての問い合わせ、改善を求める声が多く寄せられるので、ホームページ、ポスター等での対応を強化していく。

## 4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
<p>当年度は、新型インフルエンザの発生などのマイナス要因もあったが、入館者数が前年度よりも増加したことに起因して、経常収入は23百万円増加となった一方、原油価格下落に伴う水道光熱費の減少が広告宣伝費や修繕費の増加をカバーし、経常利益は16百万円改善となった。</p> <p>今後も引き続き、現在の入館者数を維持するため、飽きさせない企画展示を行うと共に、勤務形態の見直しによる人件費の削減により収益性の確保が求められる。</p>	